

# 栄誉をたたえて 市表彰式典開催

11月1日、オーエンス文  
化会館で市表彰式典を行い  
ました。表彰者は次のとお  
りです(順不同、敬称略)。  
○秘書広報課 ☎70・56  
48。

▼自治功勞表彰(市議会議  
員として永年にわたり市政  
の発展に貢献) ▼山田晴義  
(落谷南) ▼出口けい子(深  
谷南) ▼増田淳一郎(天上)  
▼自治表彰(市議會議員と  
して市政の発展に貢献) ▼  
笠間善晴(寺尾釜田) ▼上  
田博之(小園) ▼比留川政  
彦(深谷)



増田淳一郎氏



出口けい子氏



山田晴義氏



▼農業委員会委員として市  
政の発展に貢献) ▼綱島淳  
子(深谷中)  
▼教育委員会委員として教  
育行政の発展に貢献) ▼伊  
藤祐彦(寺尾北)  
▼一般表彰(公共の福祉の  
増進に貢献) ▼石川はる美  
(大上) ▼金岡洋子(綾西)  
▼佐々木淳一(寺尾北) ▼  
杉本美奈子(寺尾中) ▼戸  
田輝國(落谷南) ▼奥田一  
清(大上) ▼比留川美智子  
(落谷北) ▼廣田博美(大上)  
▼越智洋之(寺尾本町) ▼  
小宮昌典(落谷南) ▼佐々  
木勝子(大上) ▼高野悦子  
(小園) ▼橋川美智子(寺  
尾本町) ▼比留川祥隆(深  
谷上) ▼今野越子(落谷南)  
▼峰岸恵美子(大上) ▼川  
野保代(大上) ▼幸丸和子  
(寺尾釜田) ▼佐久間由紀  
子(小園) ▼花井さつ子(蓼  
川) ▼町田章(上土棚南)

所得税・個人市県民税の  
社会保険料控除には、日本  
年金機構本部が11月上旬に  
送付した、1月～9月に納  
付した国民年金保険料額と  
年内の納付見込額を証明す  
る「社会保険料(国民年金  
保険料)控除証明書」が必要  
です。10月1日以降に今  
年初めて保険料を納付する  
方には、来年2月上旬に同  
証明書を送付します。家族  
の国民年金保険料を納付し  
た場合も、本人の社会保険  
料控除に加えることができ  
ます。詳しくは専用ダイヤ  
ル ☎0570・058・5  
55、PHS・IP電話は

## 年末調整、確定申告 社会保険料控除証明書が 必要です

▼小川富久子(寺尾西) ▼  
加藤良隆(寺尾南) ▼二見  
義光(大和市) ▼増田淳一  
郎(大上) ▼橋川正昭(寺  
尾台) ▼笠間英博(寺尾西)  
▼田村義春(寺尾中) ▼林  
徳男(上土棚南) ▼原田國  
興(寺尾西) ▼伊藤祐彦(寺  
尾北) ▼阿部幹子(深谷上)  
▼比留川國雄(深谷南) ▼  
遠藤義昭(寺尾釜田) ▼志  
田勝利(寺尾南) ▼庄司周  
造(落谷北) ▼佐藤忠志(寺  
尾中) ▼比留川義昭(深谷  
中) ▼大塚幸男(蓼川) ▼  
植野正宏(寺尾中) ▼川口  
信夫(深谷中) ▼渋谷均(深  
谷上) ▼武田信裕(上土棚  
南) ▼松本春男(落谷南)  
▼金嶋富久子(深谷南) ▼  
加藤春江(吉岡) ▼比留川  
桃三(深谷上) ▼高嶋慶昭  
(深谷中) ▼志澤輝彦(吉岡)  
▼峯尾勝彦(上土棚南) ▼  
笠間功治(小園) ▼中澤雅  
雄(深谷) ▼上田啓子(大  
上) ▼木曾綾子(深谷南)  
▼教育・文化・スポーツの  
振興に貢献) ▼米倉秋則(寺  
尾中) ▼高橋三男(深谷上)  
▼森田徹(深谷中) ▼三河  
涼(藤沢市) ▼堀田優果(深  
谷南) ▼青木優佳(深谷中)  
▼ボランティア活動) ▼ド  
リームプレイウッズ管理運  
営委員会 ▼綾瀬城山ほたる  
保存会 ▼長峰の森管理委員  
会 ▼落合キツキの森管理  
委員会  
▼感謝状 ▼橋川利一

## タイム スリップ

### 富士山噴火と綾瀬周辺

1707年(宝永4年)、相模国・駿河  
国・武蔵国(現在の神奈川、静岡、  
東京の一部)で大地震が起き、続い  
て富士山が大噴火しました。その火  
山灰が周辺諸国に降り注ぎ、当時の  
田畑が荒廃してしまいました。現在、  
発掘調査では、降り積もって堆積し  
た火山灰によって時代が推測でき  
ることから「かき層」と呼ばれていま  
す。  
下の写真①は深谷にあった浅間森  
と塚の様子で、昭和30年に撮影され  
ました。写真中央の塚は、宝永大噴  
火の火山灰を寄せた場所と伝えられ  
ています。

写真②は、早川城山遺跡から検出  
された宝永火山灰の様子です。  
園生涯学習課 ☎70・5637。



▲写真①：浅間森と塚



▲写真②：早川城山遺跡の宝永  
火山灰(矢印部分)

## きらめき 市民活動

まちかど特派員  
レポート 馬場正勝



▲版木を彫る様子

## ばれんの会

園荒井  
☎77・8598



▲ばれんと彫刻刀

木版画愛好会「ばれんの  
会」は、中央公民館で開催さ  
れたポップコーンスクール  
木版画講座修了者の有志が  
集まって平成9年に発足  
し、現在14人が活動中です。  
会の名前の「ばれん」と  
は、彫った版木に塗った絵  
の具を和紙に刷り取る日本  
独自の道具のことで、中国  
や朝鮮から伝わったと考え  
られています。材料・形・  
使い方が異なり、語源は不  
明のようです。  
会として、美意識の向上  
と木版画の魅力の普及を目  
指しているとのこと。す  
が、「自分の世界に入るこ  
とができ、版木を刷ってみ  
ると思いがけない作品にな  
るところが魅力」と、世話

荒井さんは「いい仲間  
に囲まれて、いい先生と出  
会って、人との交わりから  
会を通して地域に恩返しし  
ていけるようになれば」と  
の思いも語ってくれました。  
温かさを感じる作品が、南  
部ふれあい会館に展示され  
ていますので、立ち寄って  
みてはいかがでしょうか。

活動は月2回、南部ふれ  
あい会館に集まり、自分で  
テーマを決めて好きなよう  
に彫ります。そして、版画  
家で東京造形大学特任准教  
授の佐竹宏樹先生に指導を  
受けたり、新しい技法を学  
んだりします。



▲先生から学ぶ皆さん